

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第36週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は第23週から減少し続けていたが、第35週からはわずかに増加している / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-7

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 2004年第36週の現段階での報告数は130例であった

< 細菌性赤痢 > 2004年8月下旬からの細菌性赤痢で、推定感染地がハワイと記載されているものは合計15名に上っている



病原体情報
P.8-9

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年 / 流行性角結膜炎患者から分離されているアデノウイルス 2004年



速報
P.10

A群コクサッキーウイルス2型の流行 - 秋田県



海外感染症情報
P.11-13

エジプトへの旅行者で多数のA型肝炎患者の発生 - ドイツ: 国際的警告 / プエルトリコでのウイルス性髄膜炎の流行 / 米国でのウエストナイルウイルス流行



感染症の話
P.14

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(36週)
P.15-21



36週のデータ
P.22-31



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第36週コメント> 9月9日集計分

全数報告の感染症

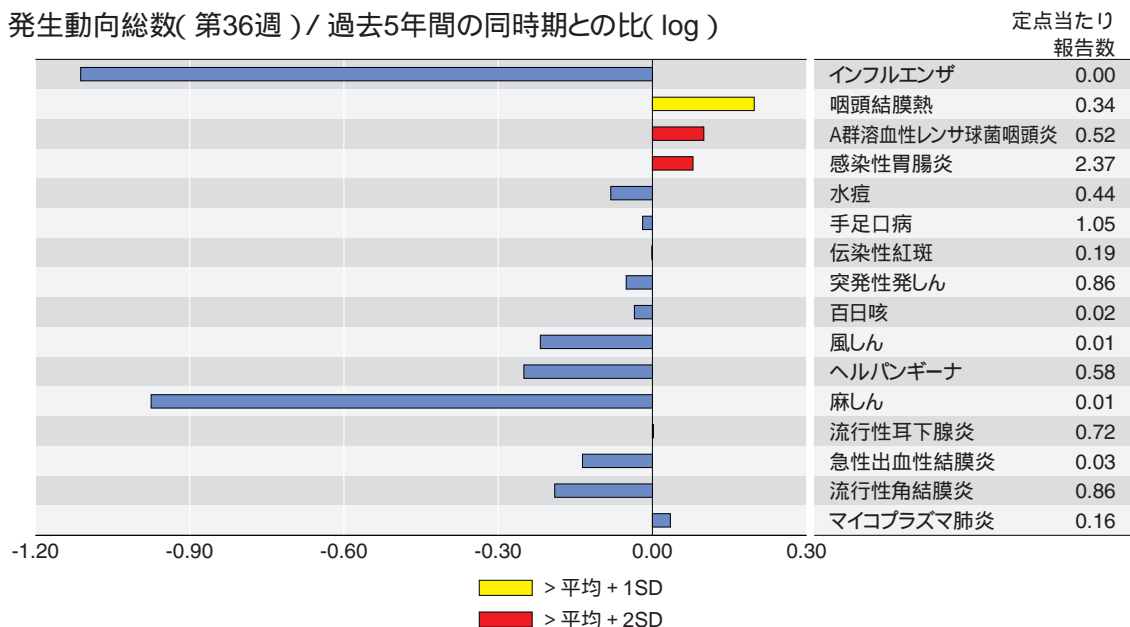
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 5例(推定感染地域: 国内2例、フィリピン2例、インド1例)
細菌性赤痢 25例(推定感染地域: 国内3例、米国(ハワイ)13例、中国1例、ベトナム1例、タイ1例、アルバニア1例、ミャンマー1例、インド1例、インド/ネパール1例、不明2例)
腸チフス 3例(推定感染地域: インド1例、カンボジア1例、インド/ネパール1例)
パラチフス 1例(推定感染地域: インドネシア)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 130例(うち有症者88例)
報告の多い都道府県: 兵庫県(13例)、東京都(12例)、大阪府(11例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(49例)、O157 VT2(27例)、O26 VT1(21例)、O157 VT1(9例)、O111 VT1(3例)、O26 VT1・VT2(1例)、O26 VT2(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、O121 VT2(1例)、O18 VT2(1例) その他(16例)
年齢: 10歳未満(63例)、10代(18例)、20代(16例)、30代(10例)、40代(4例)、50代(3例)、60代(8例)、70歳以上(8例)
 - 4類感染症: デング熱 4例(推定感染地域: フィリピン1例、タイ1例、インド/ネパール2例)
日本脳炎 1例(熊本県)
マラリア 2例(ともに三日熱_推定感染地域: パプアニューギニア1例、インド1例)
レジオネラ症 2例(71歳、72歳)
レプトスピラ症 1例(沖縄県)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 7例(推定感染地域: すべて国内、推定感染経路: 経口感染3例、性的接触1例、不明3例)
ウイルス性肝炎 1例(B型_推定感染経路: 性的接触)
クリプトスポリジウム症 12例(千葉県(9)、埼玉県(3)、推定感染地域: すべて国内)
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
後天性免疫不全症候群 8例(すべて無症候)
推定感染経路: 性的接触7例(異性間2例、同性間4例、同性/異性間1例)、不明1例
推定感染地域: 国内7例、中国1例
ジアルジア症 2例(推定感染地域: インド1例、不明1例)
髄膜炎菌性髄膜炎 1例(宮城県)
梅毒 7例(早期顕症I期2例、早期顕症II期5例)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例(ともに遺伝子型: VanB_菌検出検体: 便)
- (補)他に梅毒1例の報告があったが、削除予定。また報告遅れとして、急性脳炎1例(7歳、病原体不明)、レプトスピラ症1例(沖縄県)がみられた。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第36週) / 過去5年間の同時期との比(log)

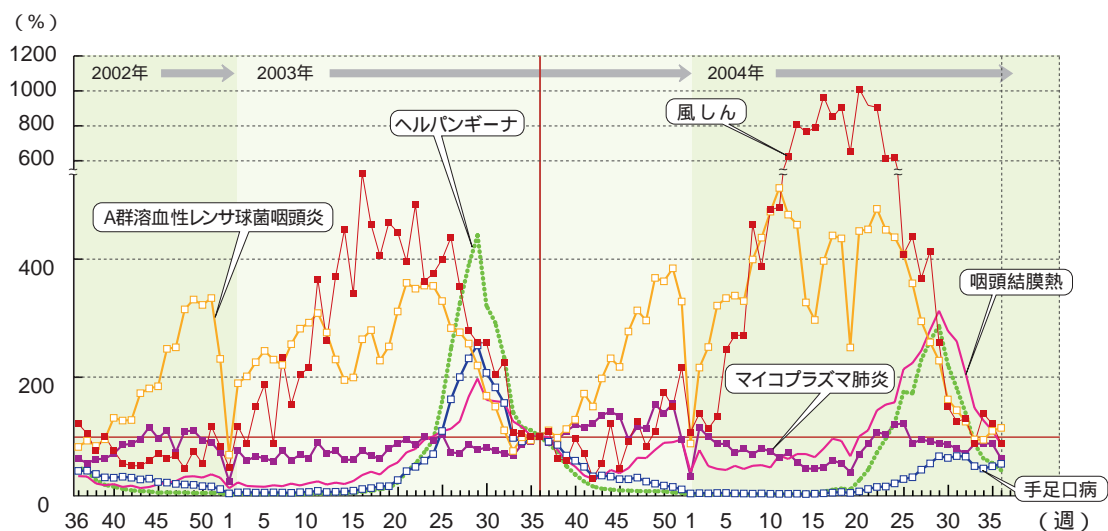


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第11週から増加傾向が認められ、第25週には過去10年間の全ての週と比較して最高値となった。その後も第29週まで最高値を更新し続けたが、第30週からは減少している。しかし、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多く、都道府県別では福井県(2.1)、長野県(1.0)、熊本県(0.9)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週から減少し続けていたが、第35週からはわずかに増加している。過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では大分県(1.7)、鳥取県(1.3)、富山県(1.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第12週から減少傾向が続いていたが、第34週からわずかに増加している。過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では福井県(6.6)、宮崎県(4.7)、大分県(4.6)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加し、その後第32週までほぼ横ばいで推移した。第33週から減少したが、第35週からは再びわずかに増加している。都道府県別では宮崎県(4.6)、大分県(4.5)が多い。風しんの定点当たり報告数は前週とほとんど同値で、都道府県別では14都道府県から報告があったが、いずれも0.1未満であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、第26週を除き、第20週から第29週まで増加し続けたが、第30週からは減少している。都道府県別では青森県(2.3)、秋田県(1.9)が多い。麻しんの定点当たり報告数は前週とほとんど同値で、第1週から継続して、過去10年間の当該週と比較して最低値を示している。11都道府県から報告があったが、定点当たり報告数はいずれも0.1未満であった。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて34都道府県から報告がなされ、報告数は合計45例であった。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少し、都道府県別では秋田県(0.9)、山口県(0.8)、新潟県(0.6)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第36週)



2003年第36週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。



注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は感染症法に基づく3類感染症として、患者または無症状病原体保有者について、診断した医師は届け出が義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期的検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や接触者の調査などによって発見される場合が多い。

2004年第36週の現段階での報告数は130例であった。1週間当たりの報告数は第30週を除き、第29週以降ほぼ同数で推移していたが、第36週は減少した(図1)。また、第36週までの累積報告数は2,691例で、過去3年間の同週までの累積報告数(2001年3,677例、2002年2,541例、2003年1,824例)と比較すると、2002年の状況に近い。第36週までの累積報告数を都道府県別にみると、東京都(207例)、大阪府(168例)、石川県(165例)が多い(図2)。第36週に限ると、兵庫県(13例)、東京都(12例)、大阪府(11例)が多く(図3)、報告の多くは家庭内感染を含む散発事例であるが、飲食店における集団発生もあった。

第36週までの累積報告を血清型・毒素型別にみると、O157 VT1・VT2 932例(35%)、O157 VT2 608例(23%)、O26 VT1 534例(20%)の順に多い。また、年齢群別(0~69歳までは10歳毎、および70歳以上)にみると、10歳未満1,122例(42%)が最も多く、10代439例、20代363例、30代242例、40代140例、50代150例、60代115例、70歳以上120例となっている。

溶血性尿毒症症候群(HUS)の第36週までの累積は34例である。それらの原因菌の血清型・毒素型別では、O157 VT2(16例)、O157 VT1・VT2(9例)、O26 VT1・VT2(2例)、O111 VT1・VT2(2例)、O146 VT1・VT2(1例)、その他4例であった。また、年齢群別では10歳以下が27例(うち、5歳以下は21例)、10代1例、60代1例、70歳以上5例であった。性別では男性11例、女性23例と女性に多かった。本年報告されている死亡例は4例(70代女性、2歳女性、3歳女性、80歳男性)であるが、原因菌の血清型・毒素型はそれぞれO157 VT1・VT2、O26 VT1・VT2、O111 VT1・VT2、O157 VT1・VT2であった。死亡例やHUSの合併については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、このような発生があった場合には「入力時のお願い」として、修正報告することをお願いしている。

例年報告は初秋にも多くみられるので、今後も一層の注意が必要である。また、本年においても、保育所などに関連した集団発生の報告が散見されている。保育所などでの人から人への感染を防ぐために、タオルの共用を避けることや、普段からの手洗い(特にオムツ交換時)、園児への排便後・食事前の手洗い指導を徹底することが重要である。さらに、夏季には簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別週別発生状況

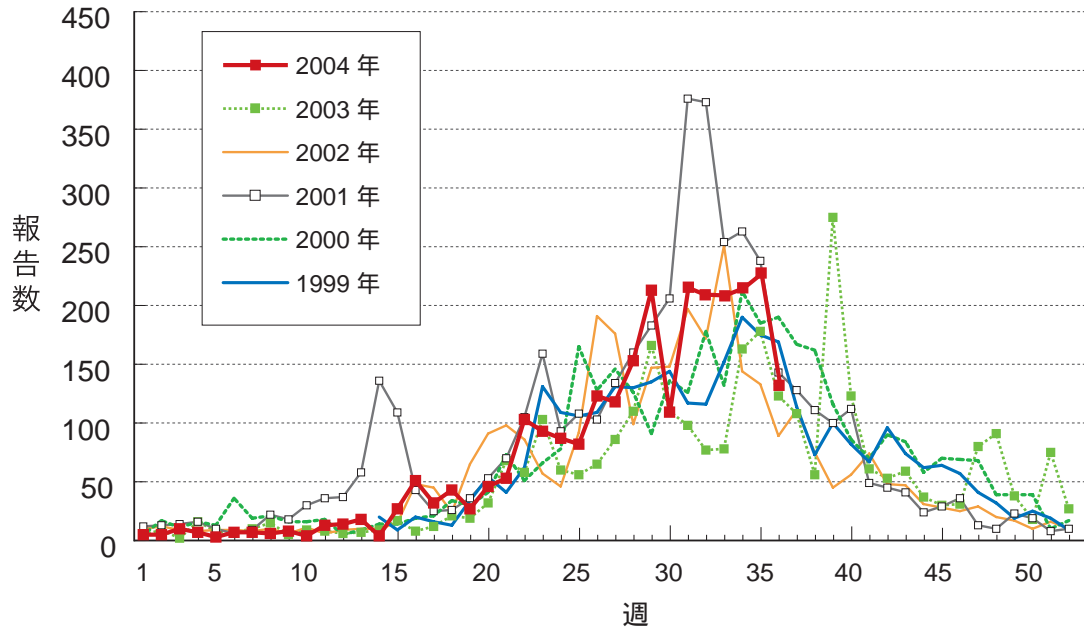


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第1 ~ 36週の累積)

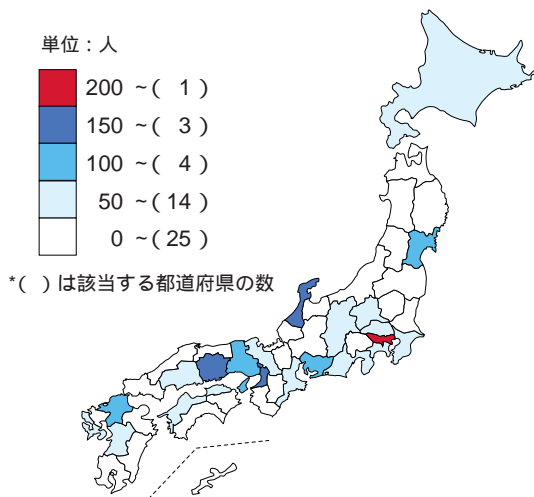
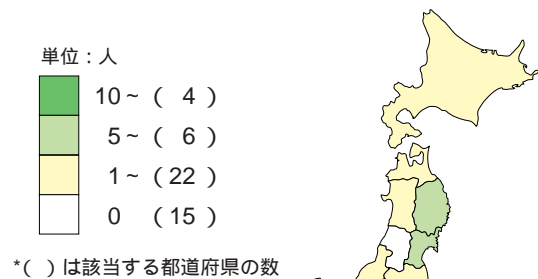


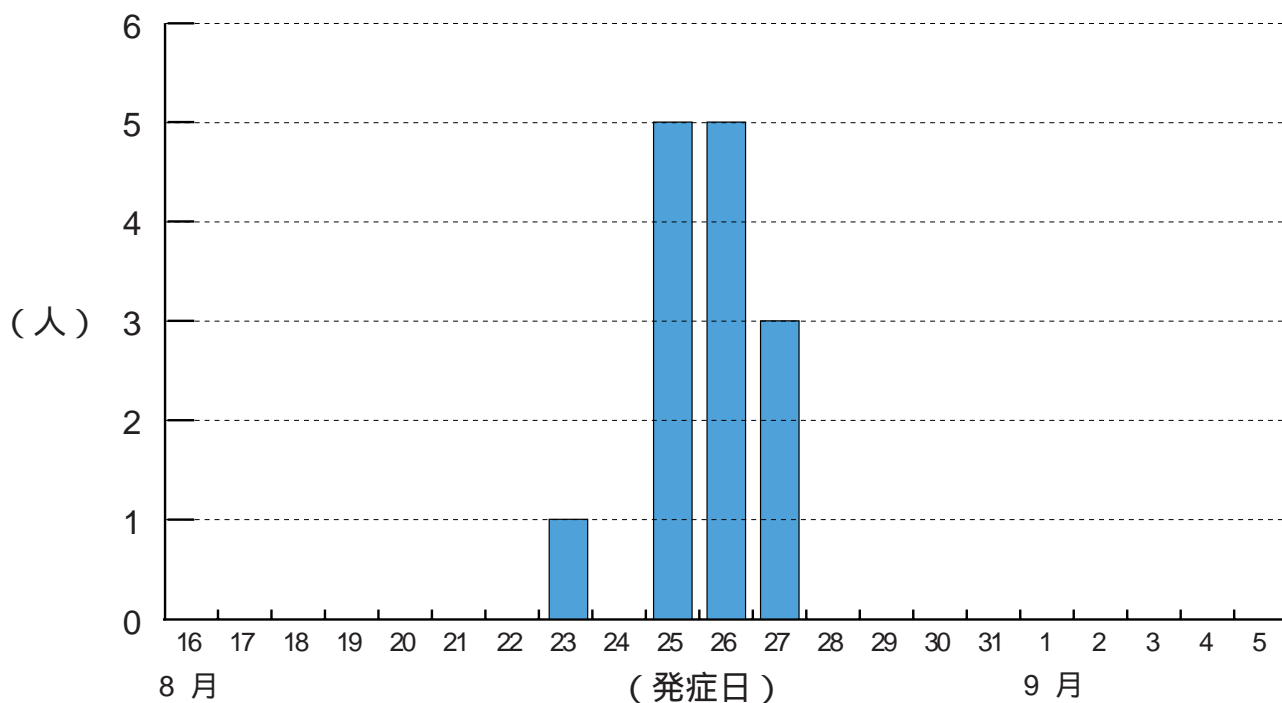
図3. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第36週のみ)



細菌性赤痢

2004年8月下旬に米国ハワイから帰国した日本人旅行者1名が細菌性赤痢と診断された後、同様な報告が続き、9月9日の段階で、細菌性赤痢で推定感染地がハワイと記載されていたものは合計15名に上っている(図)。それらの症例での起因菌は全てソネ菌である。通常ハワイからの帰国者での細菌性赤痢はほとんどみられていない。感染症発生動向調査によると、本症で推定感染国が米国と記載されていたのは2001年1例、2002年3例、2003年1例(ハワイと記載)のみである。現在、報告の多い都道府県を中心として疫学調査、分離菌株を用いた遺伝子検査などが行われている。

図. ハワイを推定感染地とする細菌性赤痢症例の発症曲線





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年9月10日現在報告分)

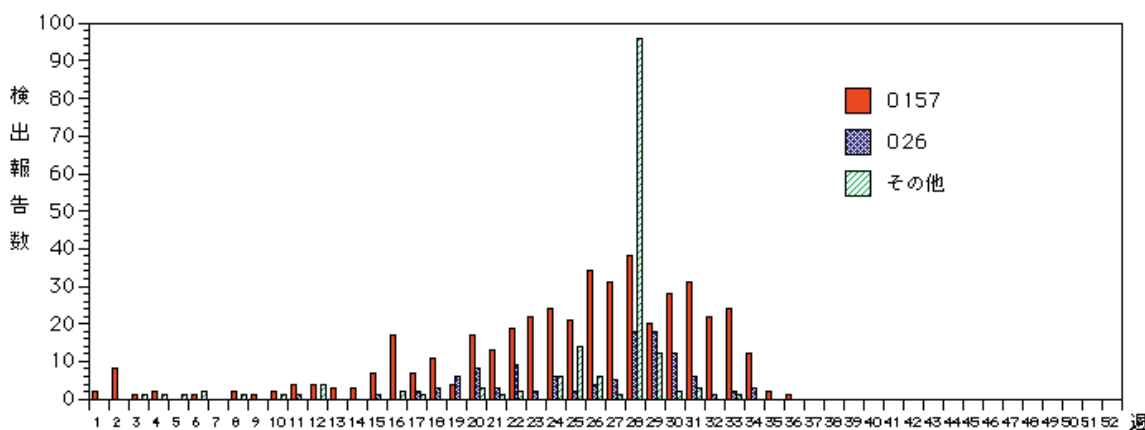
ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年

現在までの検出総数は712件で、うちO157が438件、O26が113件、その他の血清型が161件報告されている。第28～29週に石川県の高校で修学旅行後に発生した集団104人からO111(VT1&2)79件、O型別不能(VT1)17件、O26(VT1)8件、O146(VT2)2件、O157(VT1&2)1件、O型別不能(VT2)1件が検出されている。

第29～33週(7/12～8/15)の週別報告数は、O157が20、28、31、22、24、O26が18、12、6、1、2である。O157は群馬県24、静岡県17、福岡県12、石川県10など、O26は宮城県19(うち12件は保育所で起きた集団発生事例)、石川県4などから報告されている。

第34週(8/16～)以降、O157が第34週に群馬県3(すべてVT1&2)、徳島県3(VT1&2が2、VT2が1)、富山県2(いずれもVT1&2)、静岡県2(いずれもVT2)、三重県1(VT1&2)、福岡県1(VT1&2)、第35週に富山県1(VT1&2)、群馬県1(VT1&2)、第36週に長崎県1(VT2)、O26が第34週に三重県3(VT1が1、VT型不明が2)で、いずれも散発、または家族内事例からの検出報告である。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2004年 (病原微生物検出情報: 2004年9月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



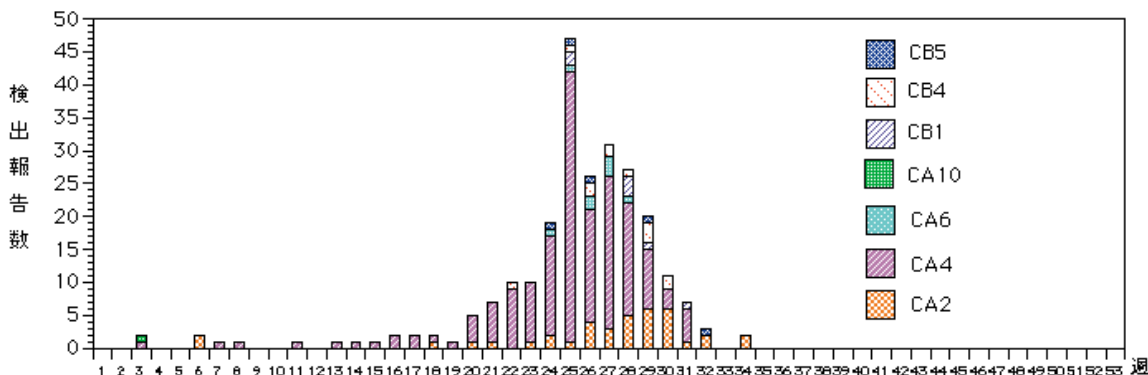
Infectious Agents Surveillance Report

ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年

ほとんどがA群コクサッキーウイルス(CA)4型の報告である。CA4は第20週(5/10 ~)から増加し始め、これまでに19都府県から計171件が報告されている。愛知県28(IDWR2004年第34号9ページ速報記事参照)、大阪府25(IDWR2004年第31号11ページ速報記事参照)、宮城県19、奈良県14、徳島県14、福岡県14などからの報告が多い。CA4に次いでCA2が38件報告されている。第26週(6/21 ~)以降に増加し、秋田県14(本号速報記事参照)、長野県4など13都府県から報告されている。その他に、第26週以降にはCA6が6件(神奈川県3、長野県2、島根県1)、B群コクサッキーウイルス(CB)が19件(4型10、1型5、5型3、3型1)、エコーウイルス(E)が3件(6型1、7型1、16型1)報告されている。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離報告数、2004年

(病原微生物検出情報：2004年9月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



流行性角結膜炎患者から分離されているアデノウイルス 2004年

アデノウイルスは計91件が報告されており、ほとんどが結膜ぬぐい液から分離されている。Ad37が26件(北海道6、岩手県4、大阪府3、熊本県3など)、次いで昨年(2003年)少なかったAd4が25件(群馬県17、熊本県4など)、昨年多かったAd3が19件(北海道5、岩手県3など)報告され、その他にはAd19が13件(山形県4、岩手県4など)、Ad8が5件(愛知県4など)、Ad1が2件、Ad11が1件報告されている。



A群コクサッキーウイルス2型の流行 - 秋田県

2004年6月上旬から県北部で検出され始めたA群コクサッキーウイルス2型(CA2)は、7月に入って県中央部から南部へと検出される範囲が拡大し、8月20日現在までに32株が分離されている。この間に全県の定点観測病院で採取して、乳飲みマウスによるウイルス分離と中和試験を行った検体は、患者咽頭ぬぐい液157検体、糞便111検体である。臨床診断別では、ヘルパンギーナと診断された検体からの分離率が最も高く、25検体から12株が分離された。他の疾患では、上気道炎が73検体中10株(以下10/73と表記)、感染性胃腸炎が4/81、髄膜炎が3/8、咽頭結膜熱が2/11、発疹症が1/10であった。この成績から、必ずしも典型的なヘルパンギーナの症状を示していない場合であっても、ウイルスが分離されていることがわかる。また、咽頭結膜熱の2例については、同一検体からアデノウイルス2型も分離されている重感染例であった。

感染症発生動向調査のヘルパンギーナの患者報告数とCA2の分離株数を比較すると、両者は時期的に重なっている。CA2以外ではCA4が5株(第24週1株、第25週1株、第26週2株、第32週1株)とCA6が2株(第22週2株)分離されているが、いずれも少数散発にとどまっており、今シーズンのヘルパンギーナの流行は主にCA2によってもたらされたものと考えられた。

当所では一本鎖高次構造多型解析(SSCP解析)を用いることで、エンテロウイルス全般の同定作業の効率化を図っているが、今回のケースでは32株のCA2は4種類のSSCPパターンに分けられた。これは代表株4株を同定すれば32株を同定したのと同じ効果が見込めるため、同定効率は32/4で8倍になるものと計算できる。SSCPパターンの内訳を見ると、32株中28株までが同一パターンであったため、実質的には20倍以上の効率化に相当している。このように、乳飲みマウスを用いなければ分離が難しいウイルスについては、SSCP解析を組み合わせることで、動物の維持管理にかかる手間の軽減にも役立つものと考えられた。

秋田県衛生科学研究所

斎藤博之 佐藤寛子 安部真理子 原田誠三郎 八幡裕一郎 佐藤智子
笹嶋 肇 鈴木紀行

(IASR2004年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

エジプトへの旅行者で多数のA型肝炎患者の発生 - ドイツ: 国際的警告 - 更新

Eurosurveillance Weekly 2004年9月9日

2004年9月8日時点で、2004年6月中旬から8月中旬の間にエジプト紅海沿岸にある特定のホテルに滞在したドイツ人旅行者から、A型肝炎患者219名が報告されている。報告された患者中203名については、検査により診断が確定している。問題のホテルに関連して、さらに49名の患者が他国から報告されている。

報告された患者発症日の最終日は9月1日である。先週(2004年9月第1週)1週間を通じて、患者の渡航日は8月中旬以降には拡大しておらず、患者の帰国最終日は8月15日であった。このことから、8月15日以降には新たな感染伝播は発生しない可能性が示唆される。A型肝炎は比較的潜伏期間が長い(15 ~ 50日間)、今後さらなる患者が医療機関を受診する可能性があり、そのため、A型肝炎が疑われる患者に関しては渡航歴を記録するべきである。

Robert Koch研究所は、エジプト当局やホテルと緊密に連絡を取り合っている。

問題のホテルではさらなる感染伝播を予防し、感染源を特定するための様々な対策が取られている。

プエルトリコでのウイルス性髄膜炎の流行 - 更新

米国CDC Travelers 'Health 2004年9月7日

プエルトリコ保健当局は2004年6月13日以後、437名のウイルス性髄膜炎患者の発生を報告した。主な感染者は6歳以下の小児である。CDCの検査では患者検体の61%から、エンテロウイルスの一種であるエコーウイルス30型が検出された。

米国でのウエストナイルウイルス流行

オレゴン州: 最初のウエストナイル熱患者が確定

オレゴン州厚生局/新聞発表 9月10日

オレゴン州厚生局(DHS)当局者は2004年9月10日に、オレゴン州公衆衛生研究所がMalheur郡住民におけるオレゴン州最初のウエストナイル熱患者を確認したと発表した。

米国 CDC/MMWR 2004; 53(35); 823-824、9月10日

ウエストナイルウイルス活動性 - 米国: 2004年9月1 ~ 7日

ヒト患者:

2004年9月1 ~ 7日の間に、ウエストナイル熱患者合計138名が22州(アラバマ州、アリゾナ州、コロラド州、ジョージア州、イリノイ州、ケンタッキー州、メリーランド州、ミシガン州、ミズーリ州、ネブラスカ州、ニューメキシコ州、ノースカロライナ州、オハイオ州、ペンシルバニア州、サウスカロライナ州、サウスダコタ州、テキサス州、ユタ州、バージニア州、ウィスコンシン州、ワイオミング州)から報告された。2004年これまでに、ArboNETを通じてCDCに対して、37州がウエストナイル熱患者合計1,191名を報告した。そのうち330名(28%)がアリゾナ州から報告され、195名(16%)がコロラド州から報告された。すべてのデータが確認されている患者1,163名中663名(57%)が男性で、年齢の中央値は51歳(範囲: 1カ月 ~ 99歳)であった。発病日は4月23日 ~ 8月29日であった。患者30名が死亡した。

献血ドナー:

ウエストナイルウイルス血症陽性疑いドナー(PVDs)98名がArboNETに報告された。そのうち37名(38%)がアリゾナ州、20名がカリフォルニア州、10名がテキサス州、9名がニューメキシコ州、4名がそれぞれコロラド、ジョージアの各州、3名がそれぞれフロリダ、サウスダコタの各州、2名がそれぞれミズーリ、ウィスコンシン州の各州、1名がそれぞれアイオワ、ルイジアナ、ミネソタ、オクラホマ州の各州から報告された。ArboNETに報告された98名中、35歳、50歳、66歳、69歳、および77歳のドナー5名がその後神経障害を呈し、24名(年齢の中央値: 55歳、範囲: 17 ~ 75歳)がウエストナイル熱を発病した。

表 . 米国でのウエストナイルウイルスの活動性

(CDCホームページより)

(2004/1/1 ~ 2004/9/14)

州	神経侵襲性 ¹⁾	ウエストナイル熱 ²⁾	他 / 不明 ³⁾	ヒト患者数	死亡者数
アラバマ	9	0	0	9	0
アリゾナ	130	40	175	345	5
アーカンソー	5	6	0	11	0
カリフォルニア	95	144	153	392	12
コロラド	32	193	0	225	2
コネチカット	0	1	0	1	0
フロリダ	21	6	0	27	1
ジョージア	4	3	1	8	0
アイダホ	0	0	2	2	0
イリノイ	14	11	1	26	1
インディアナ	2	0	0	2	0
アイオワ	3	4	2	9	1
カンザス	15	0	0	15	0
ケンタッキー	0	3	0	3	0
ルイジアナ	30	4	0	34	3
メリーランド	4	3	0	7	0
ミシガン	3	0	0	3	0
ミネソタ	8	9	0	17	0
ミシシッピ	9	7	1	17	2
ミズーリ	9	2	3	14	0
モンタナ	1	3	0	4	0
ネブラスカ	0	10	0	10	0
ネバダ	17	12	1	30	0
ニューメキシコ	18	25	4	47	2
ニューヨーク	3	2	0	5	0
ノースカロライナ	2	0	0	2	0
ノースダコタ	2	16	0	18	1
オハイオ	2	1	0	3	1
オクラホマ	3	1	0	4	1
オレゴン	0	1	0	1	0
ペンシルバニア	2	2	0	4	0
サウスカロライナ	0	1	0	1	0
サウスダコタ	5	25	0	30	1
テネシー	5	1	0	6	0
テキサス	25	8	0	33	2
ユタ	3	2	0	5	0
バージニア	2	0	1	3	0
ウィスコンシン	4	3	0	7	0
ワイオミング	2	4	0	6	0
合計	489	553	344	1386	35

1) 重症例を示し、特にウエストナイル髄膜炎やウエストナイル脳炎である。

2) 神経侵襲性の証拠がなく、より重症度の低い症例。ウエストナイル熱は現在、国レベルでは報告義務のある疾患ではない。したがって、州保健当局がCDCに報告するかどうかは任意である。

3) 「他」とはウエストナイル熱、ウエストナイル脳炎、あるいはウエストナイル髄膜炎以外の臨床所見を示す症例で、例えば急性弛緩性麻痺。「不明」とは十分な臨床情報が得られていない症例。



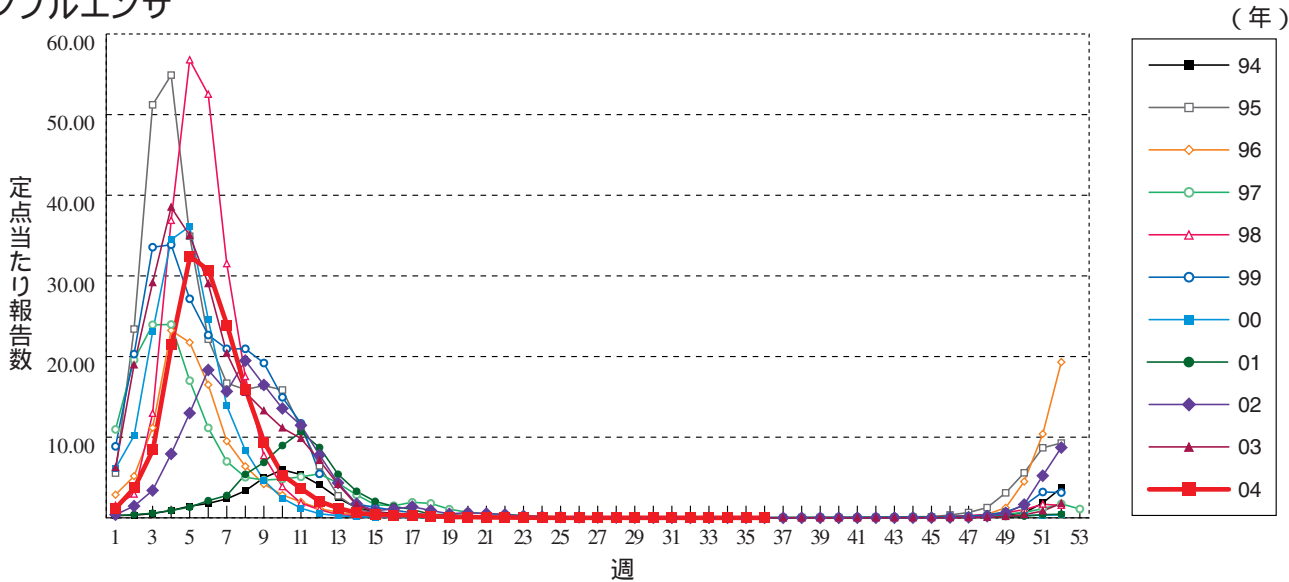
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

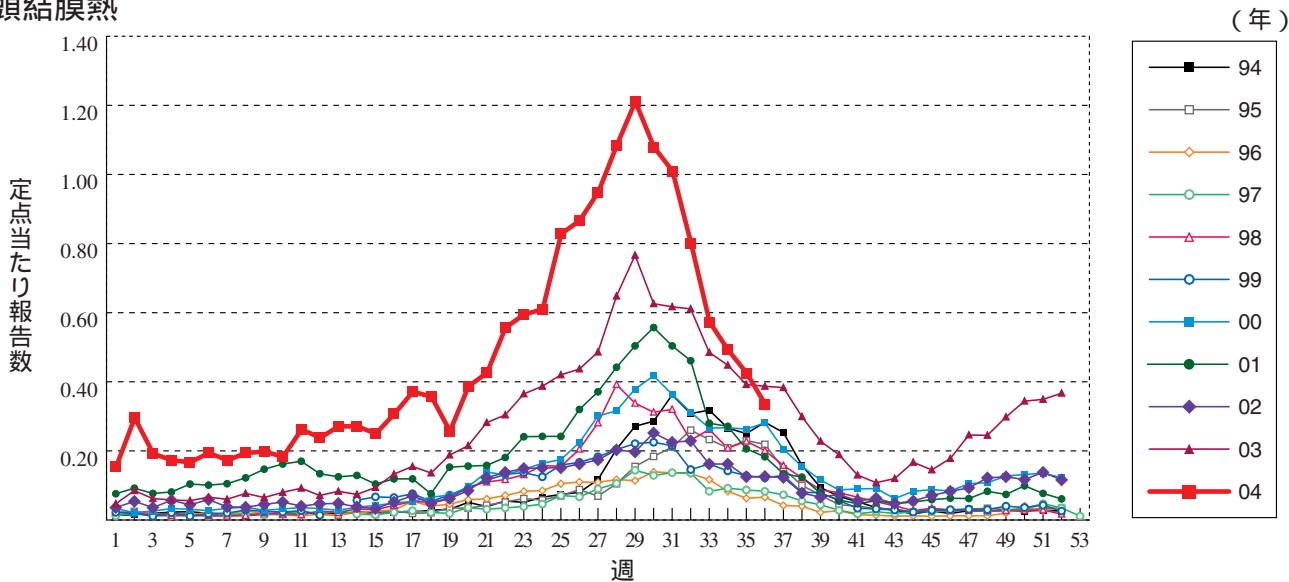


グラフ総覧(36週)

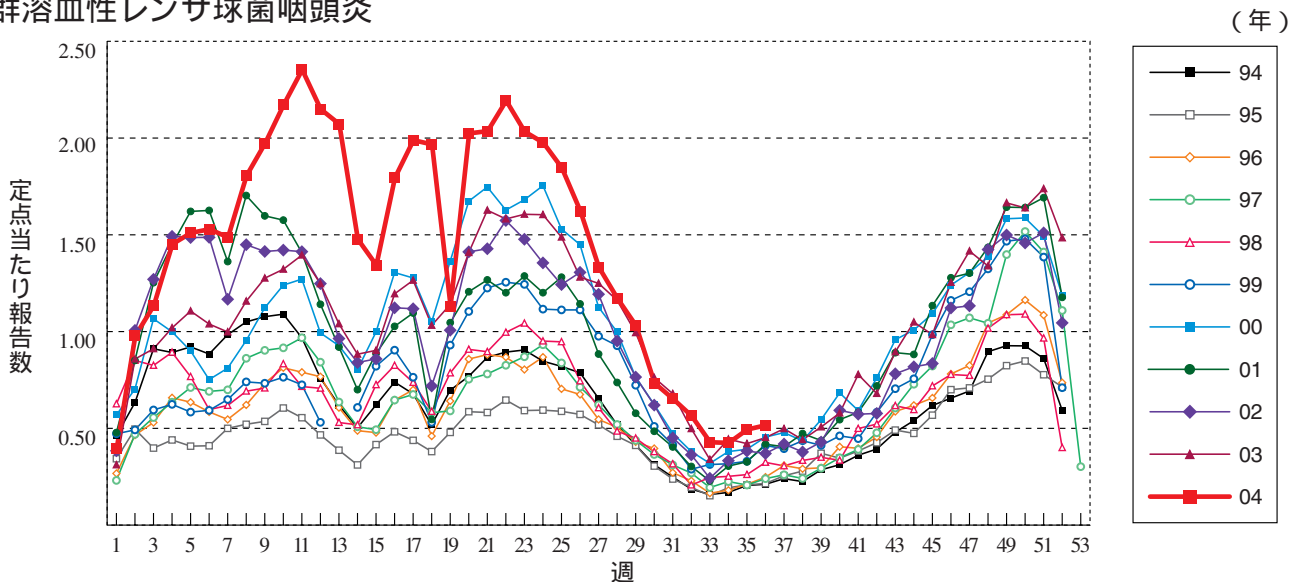
インフルエンザ



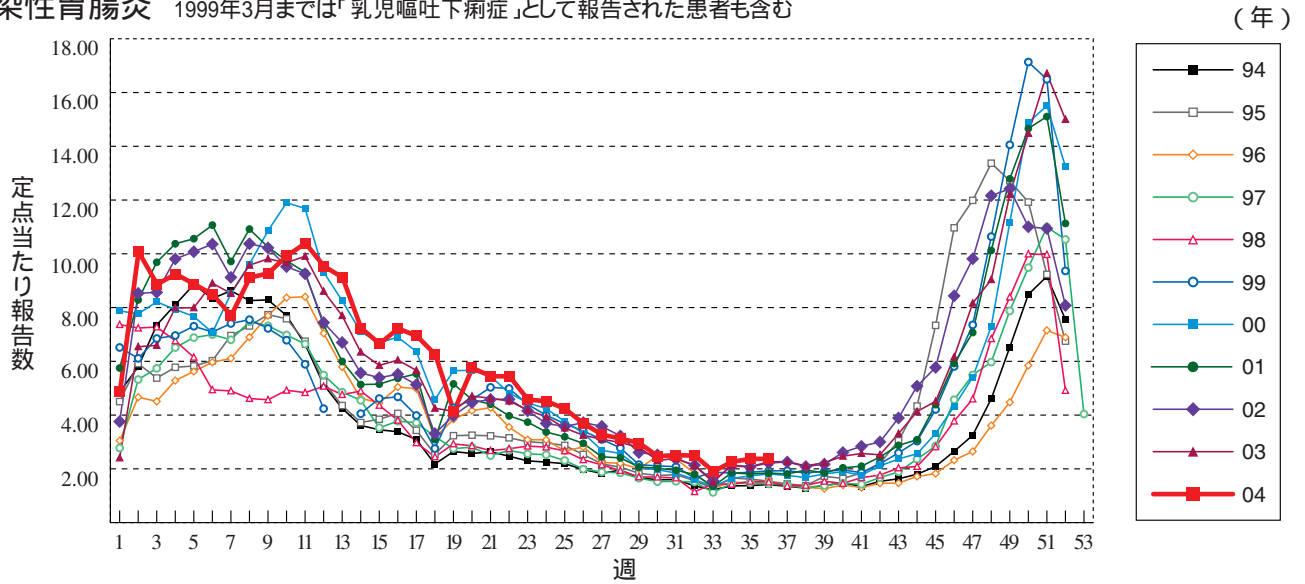
咽頭結膜熱



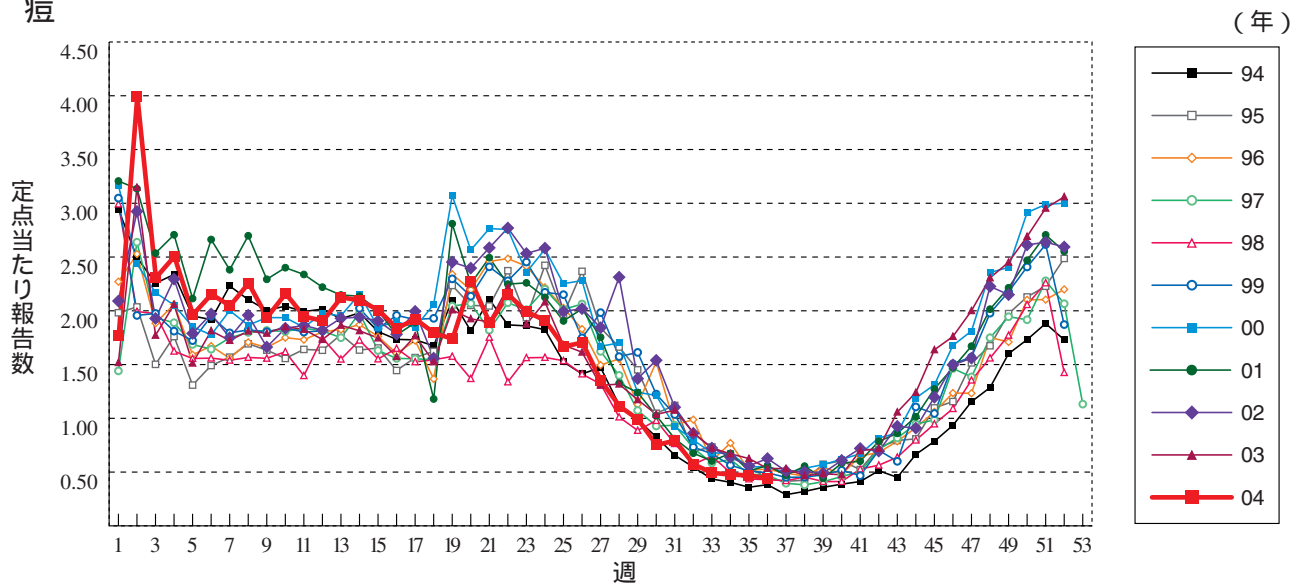
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



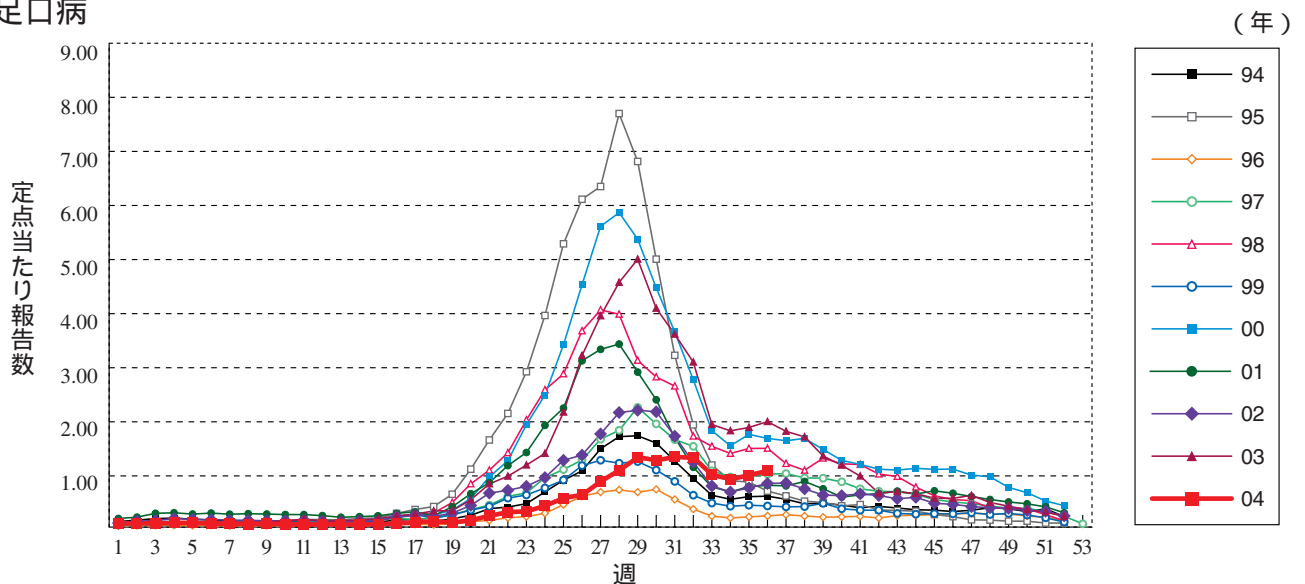
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



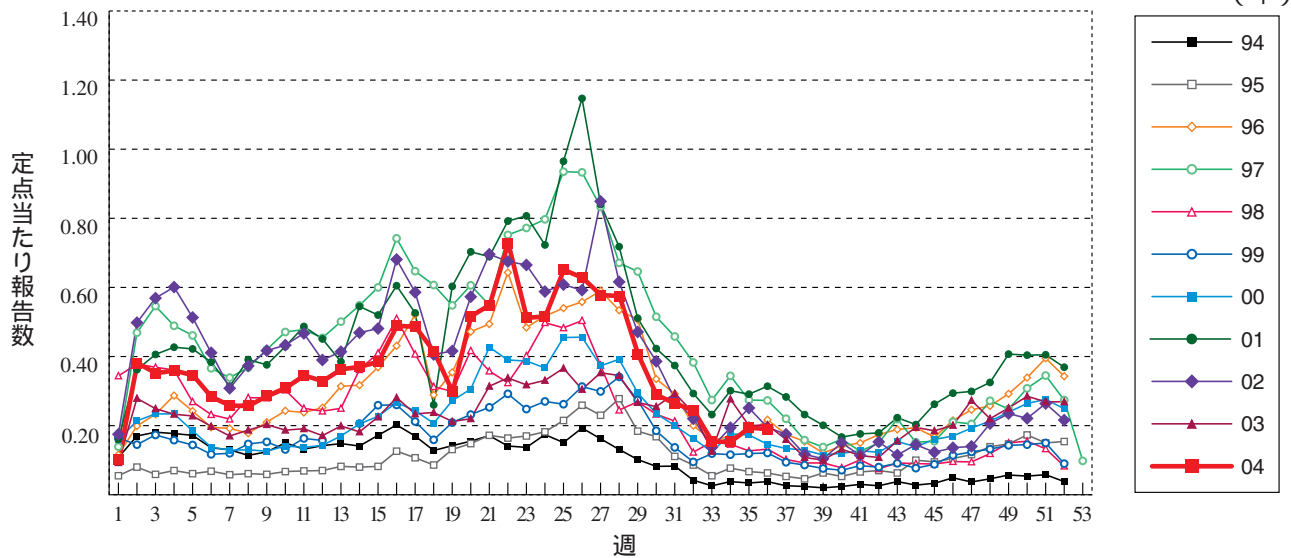
水痘



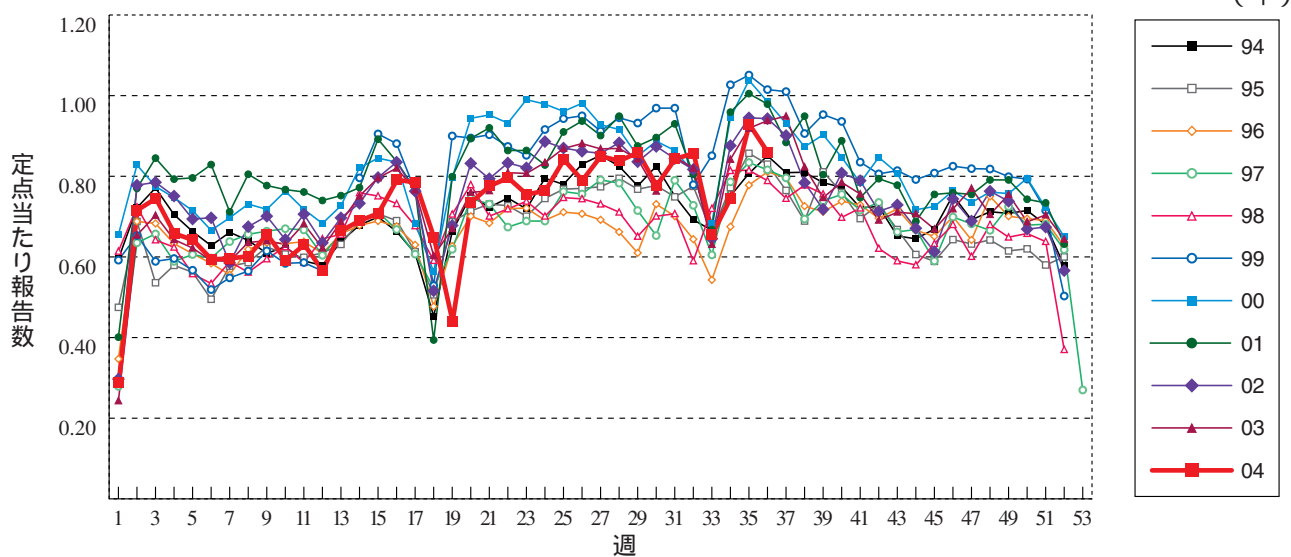
手足口病



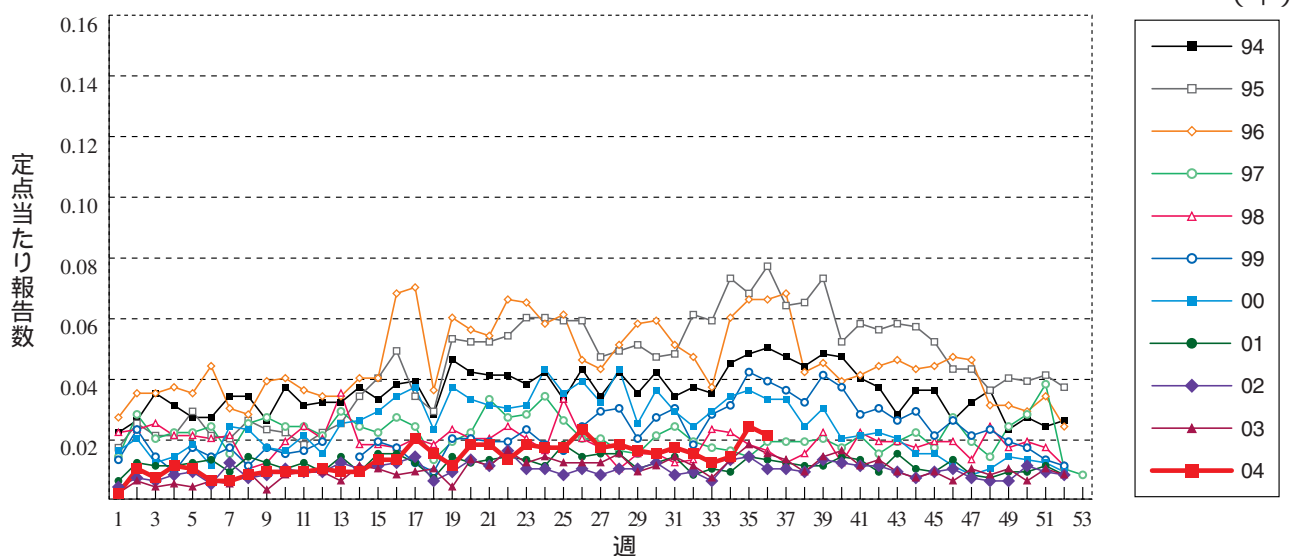
伝染性紅斑



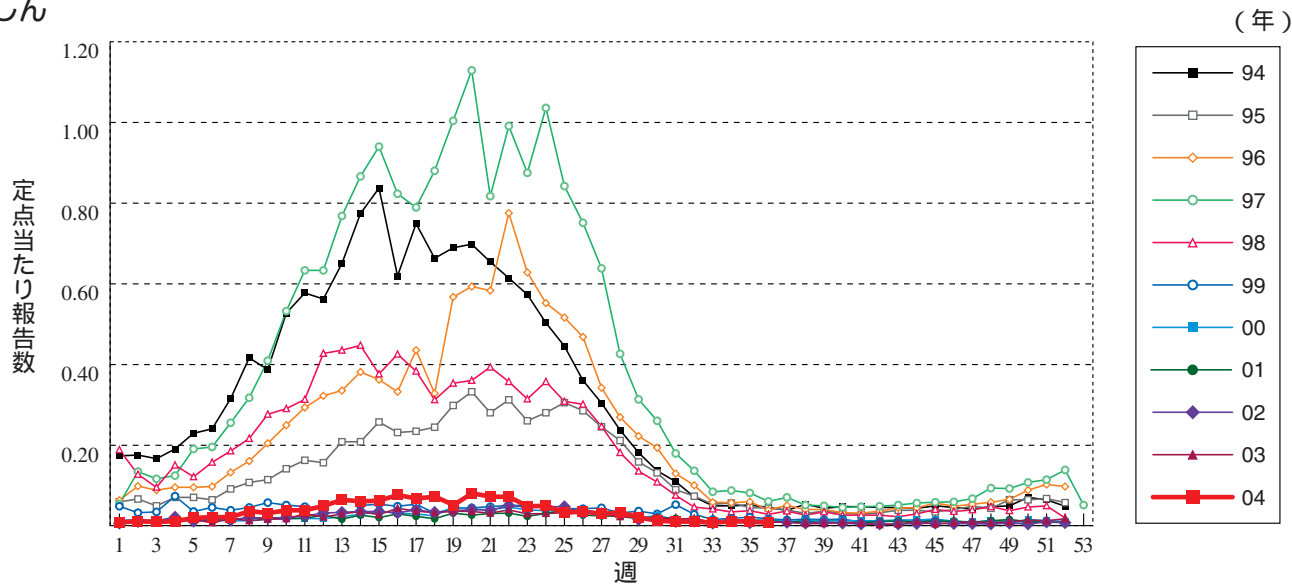
突発性発しん



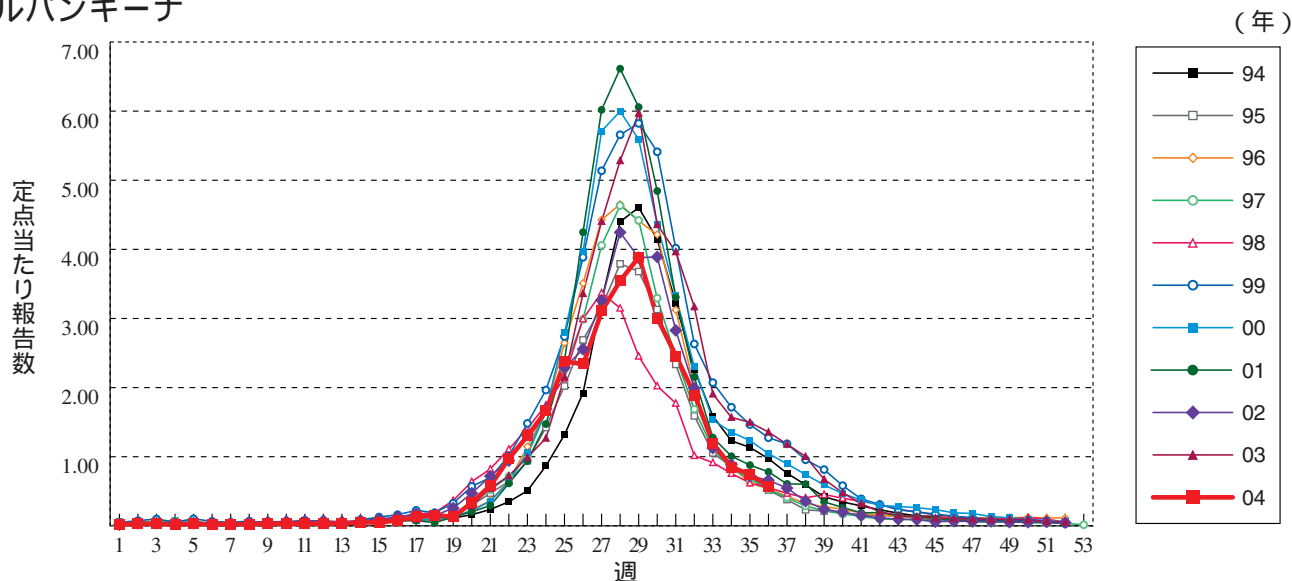
百日咳



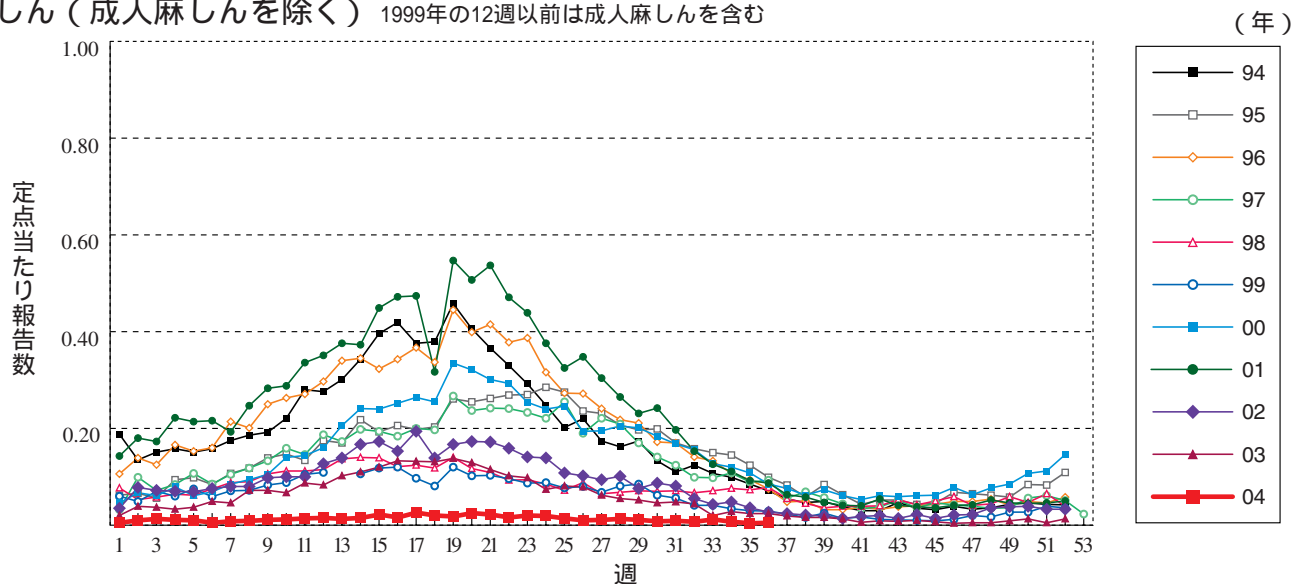
風しん



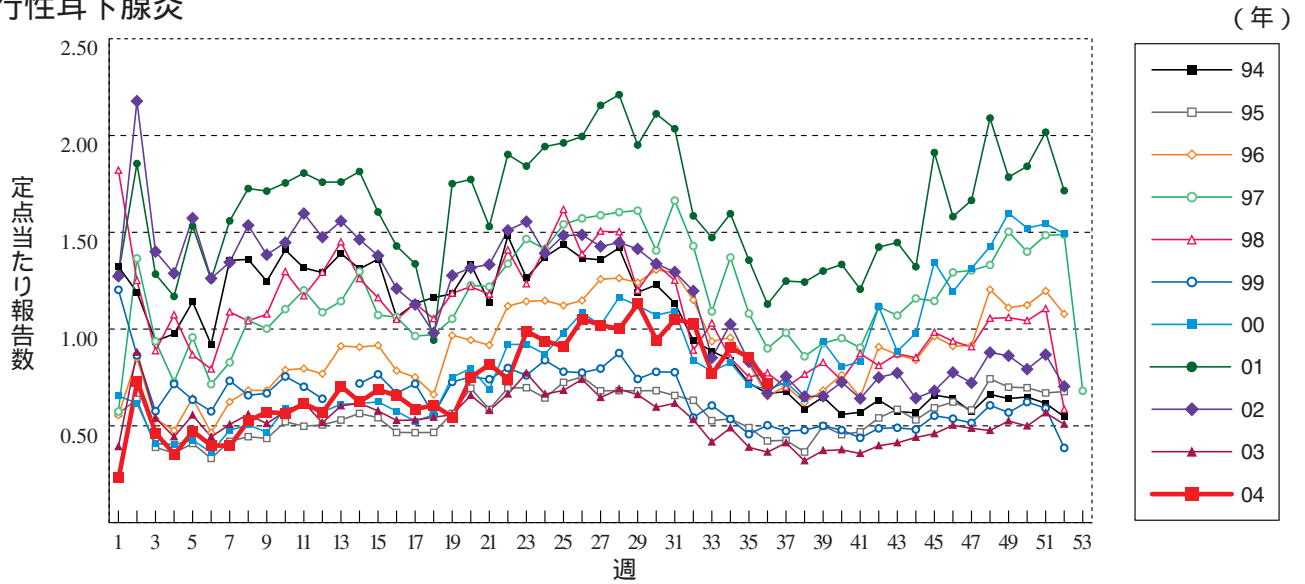
ヘルパンギーナ



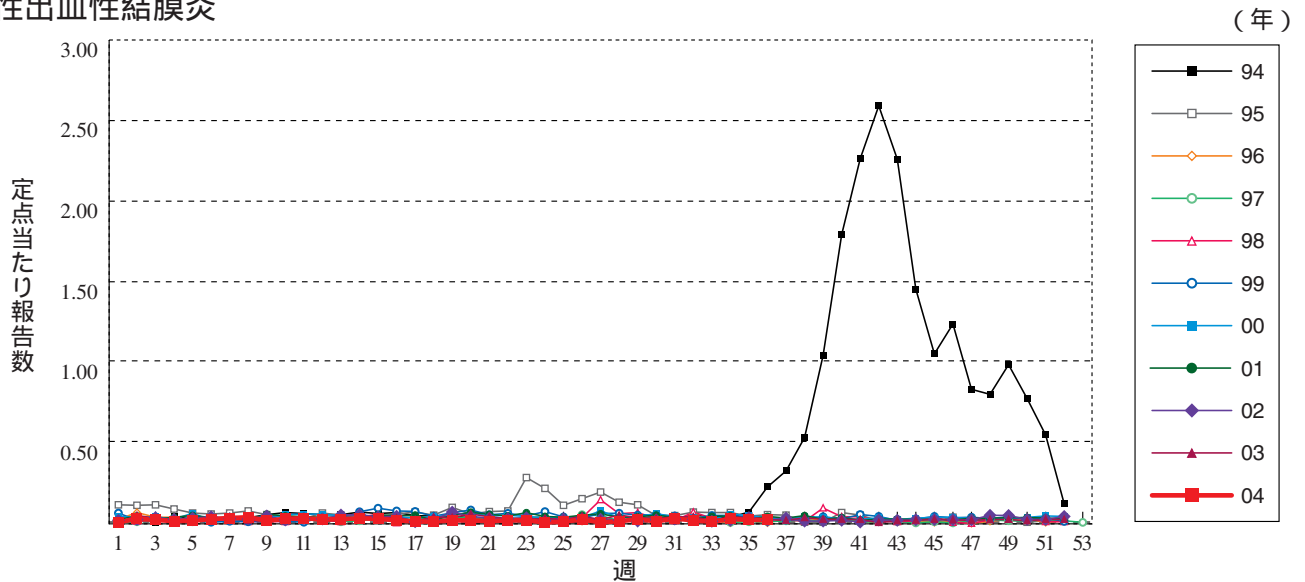
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



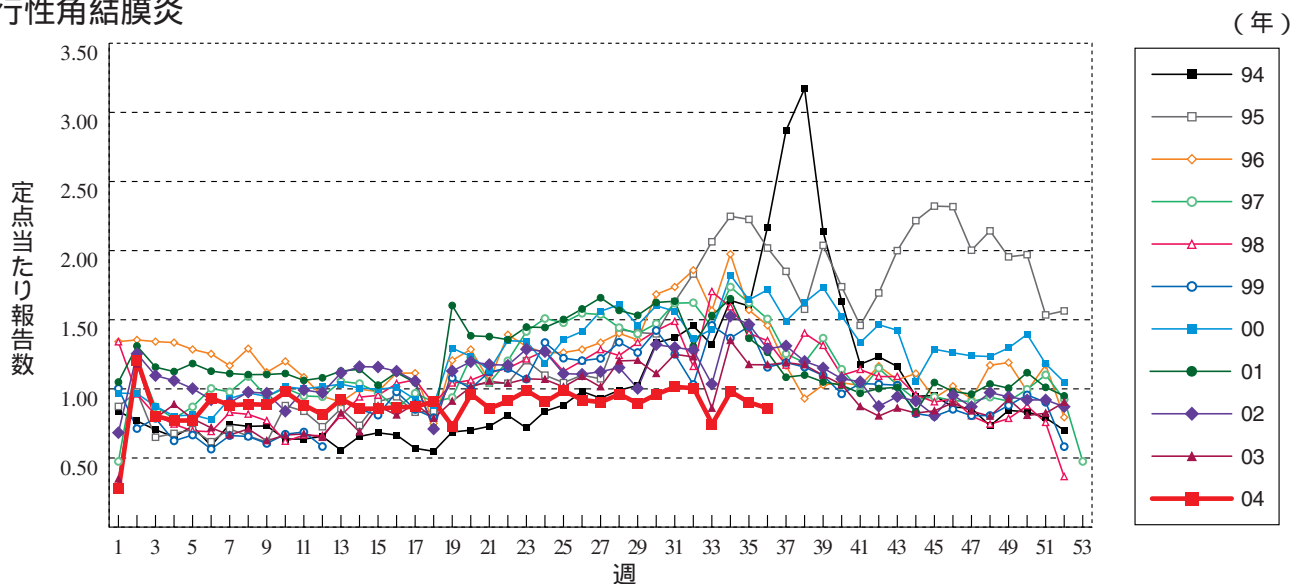
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

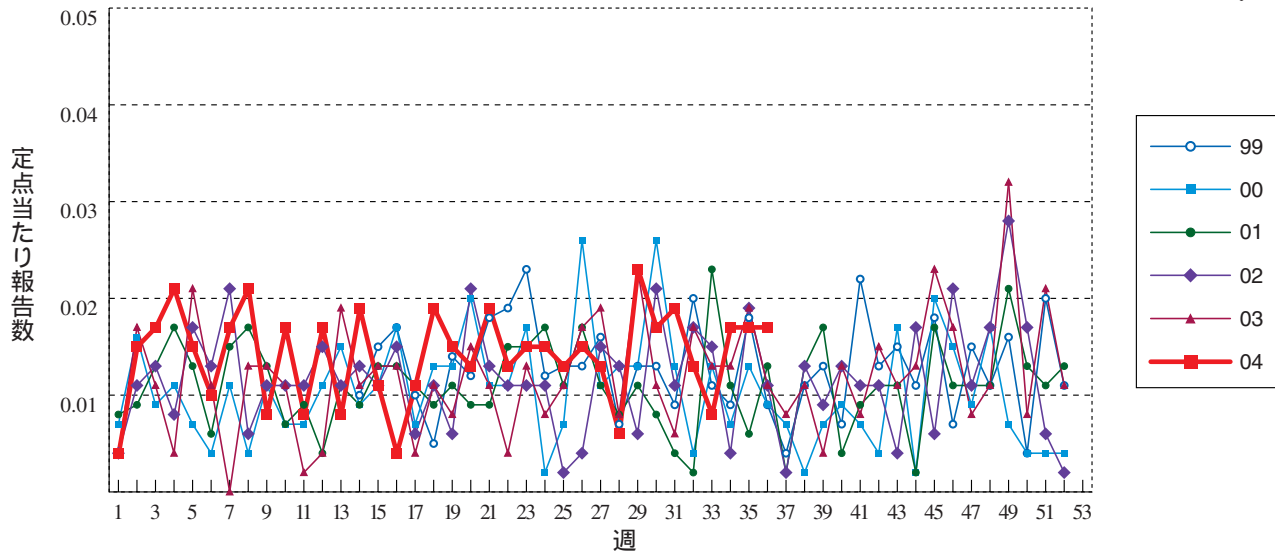


流行性角結膜炎



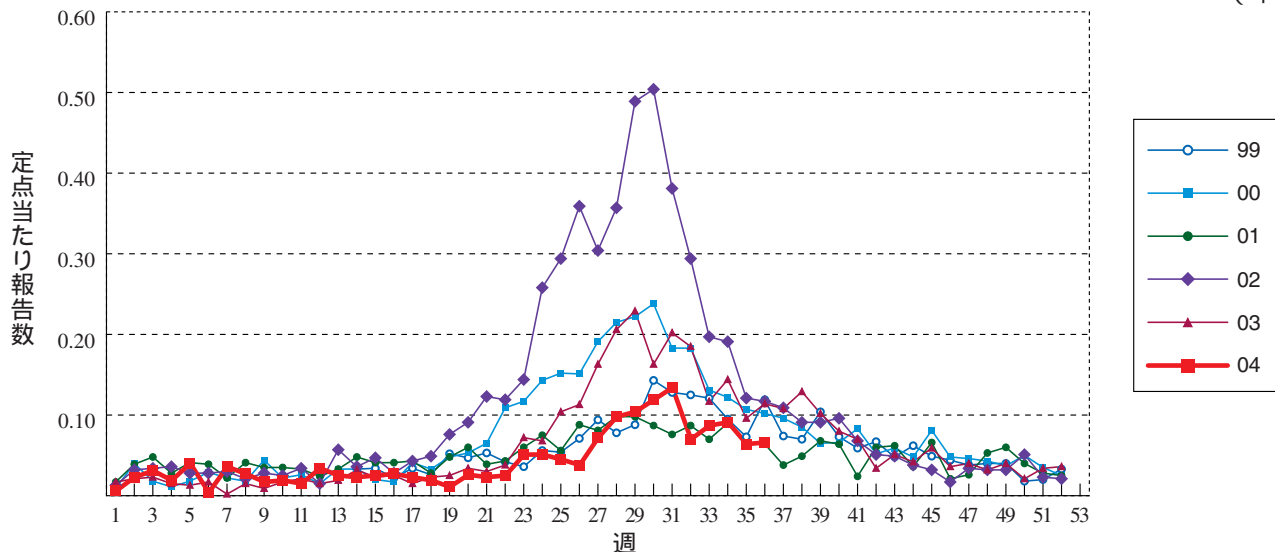
細菌性髄膜炎

(年)



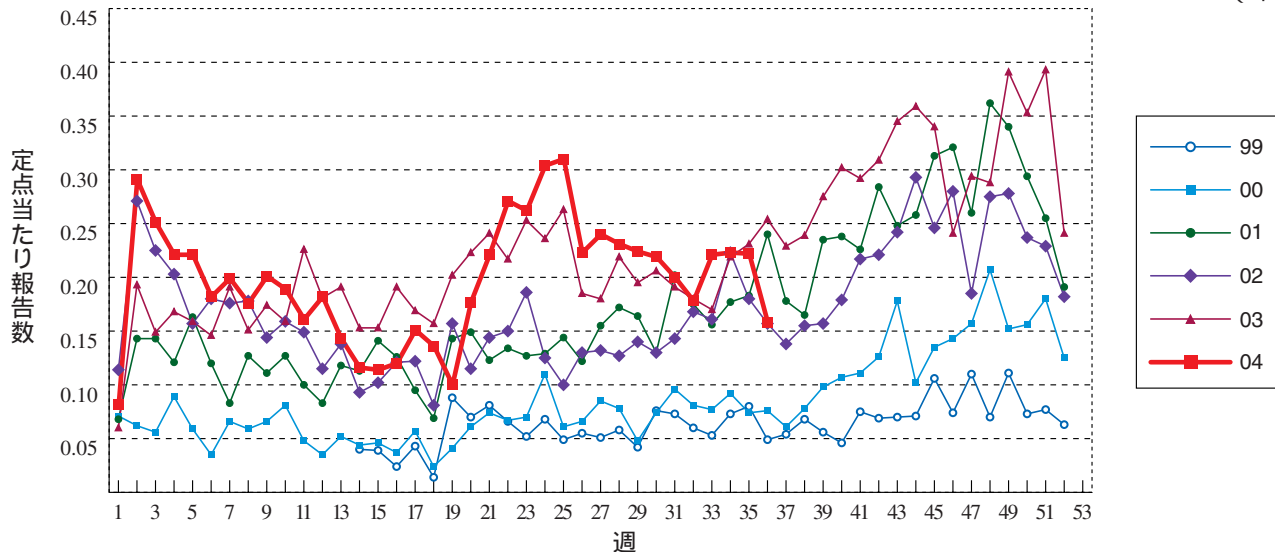
無菌性髄膜炎

(年)



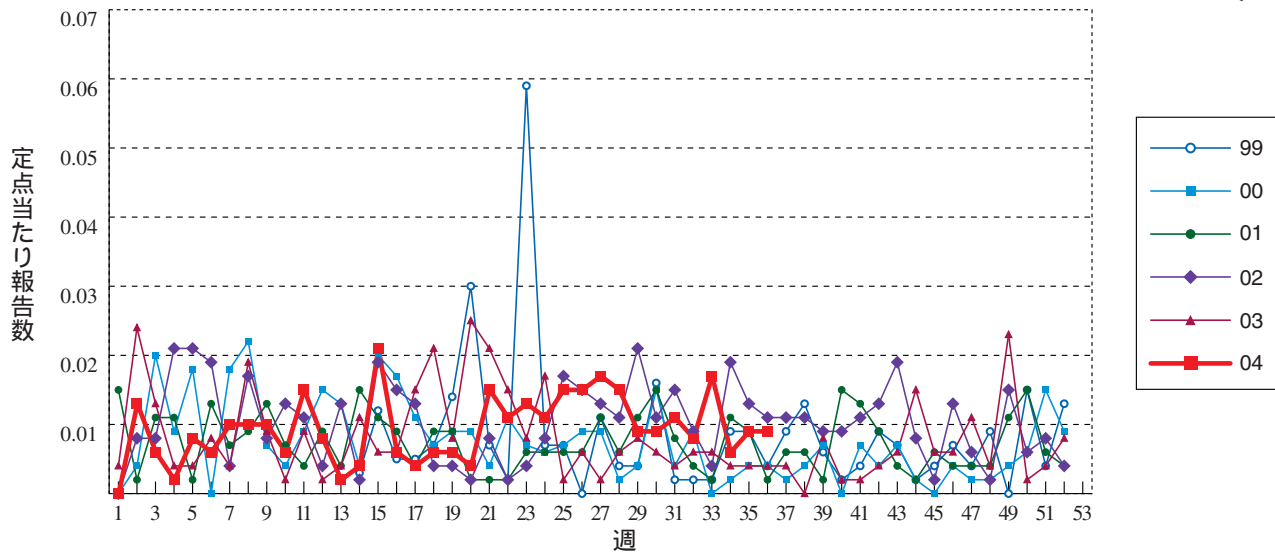
マイコプラズマ肺炎

(年)



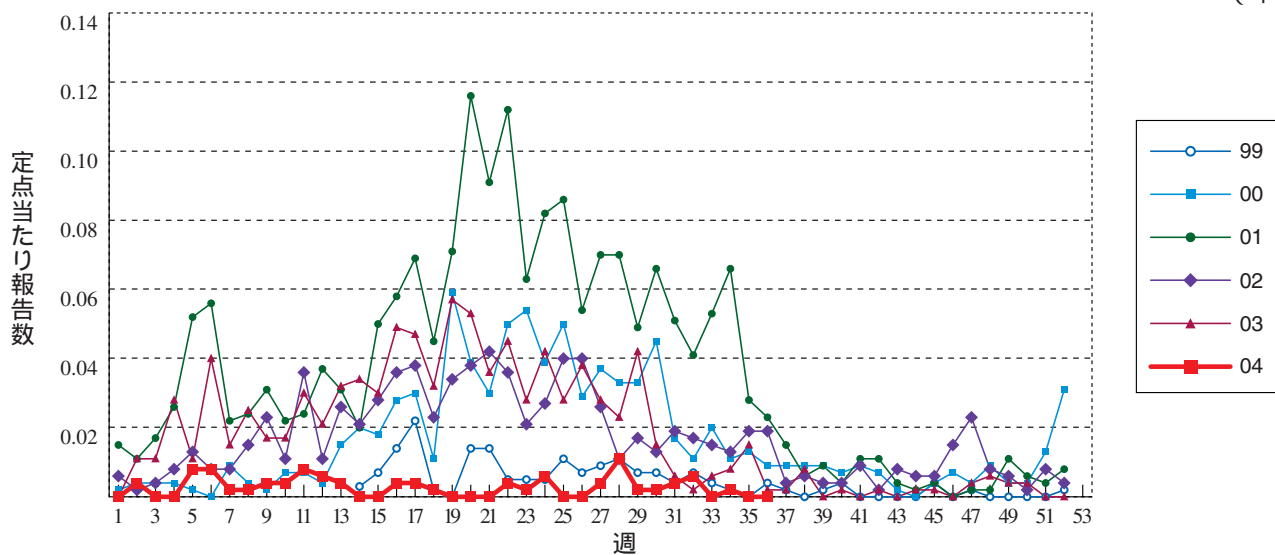
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





36週のデータ

注)表中の報告数は9月9日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年36週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	57	25	372	3	46	1	54
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	2	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	8	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	1	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	20	-	1	-	3	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	29	-	3	-	5	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	5	81	1	11	-	13	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	18	1	5	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	6	-	2	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	17	1	3	-	8	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	1	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	1	-	4	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	39	-	3	-	3	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	18	-	5	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	11	-	1	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	1	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年36週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	130	2691	7	397	-	21	-	-	-	31	-	-	1	191
北海道	-	-	-	-	4	50	-	9	-	21	-	-	-	1	-	-	-	9
青森県	-	-	-	-	4	20	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	9	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	7	104	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	1	38	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1	35	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	15	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	26	1	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	5	70	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	3	68	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	1	96	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	12	207	2	97	-	-	-	-	-	2	-	-	-	38
神奈川県	-	-	-	-	5	72	-	21	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	1	21	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	1	16	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	165	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	2	34	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	1	53	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1	30	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	4	51	-	14	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	10	134	1	35	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	1	73	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	18	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	3	56	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	11	168	1	44	-	-	-	-	-	6	-	-	1	20
兵庫県	-	-	-	-	13	117	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
奈良県	-	-	-	-	-	37	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	-	14	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	2	13	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	5	159	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	2	67	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	40	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	53	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	2	73	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	8	117	-	15	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	4	31	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	64	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	2	73	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	3	30	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	24	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年36週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	12	20	1	112	-	41	8	763	-	2	2	57	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	8	-	-	-	2	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	3	4	-	4	-	1	-	26	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	9	9	-	4	-	2	1	38	-	-	1	6	-	-
東京都	-	1	-	-	-	7	-	10	-	5	4	290	-	-	-	16	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	46	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	28	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	1	26	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	49	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	4	2	78	-	-	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	3	-	15	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	3	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	12	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	2	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年36週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		炭 疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅 毒		破 傷 風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	18	-	5	-	-	-	98	4	29	-	31	1	2	8	340	-	61
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3
青森県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
宮城県	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	1	8	-	2
東京都	-	4	-	3	-	-	-	5	2	19	-	-	-	-	-	43	-	1
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	11	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	9	-	2
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	23	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	12	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	46	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	1	-	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	8	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	6	-	1
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	9	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	1	-	19	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	-	4	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	2	-	-	1	7	-	5
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年36週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	39	-	-	-	-	-	-	-	-	2	43	-	2	2	95
北海道	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	12
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年36週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	21	-	-	-	102	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年36週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	4	-	48	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年36週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	4	0.00	1017	0.34	1567	0.52	7205	2.37	1338	0.44	3179	1.05	577	0.19	2606	0.86	63	0.02
北海道	-	-	65	0.45	143	1.00	136	0.95	68	0.48	370	2.59	18	0.13	103	0.72	2	0.01
青森県	-	-	6	0.14	20	0.48	49	1.17	12	0.29	20	0.48	3	0.07	28	0.67	3	0.07
岩手県	-	-	6	0.17	11	0.31	41	1.14	14	0.39	28	0.78	8	0.22	21	0.58	1	0.03
宮城県	-	-	11	0.19	38	0.64	170	2.88	38	0.64	51	0.86	24	0.41	53	0.90	2	0.03
秋田県	-	-	7	0.20	14	0.40	80	2.29	24	0.69	4	0.11	2	0.06	20	0.57	-	-
山形県	-	-	9	0.30	34	1.13	46	1.53	12	0.40	-	-	11	0.37	29	0.97	-	-
福島県	1	0.01	9	0.19	39	0.81	200	4.17	26	0.54	23	0.48	7	0.15	46	0.96	-	-
茨城県	-	-	22	0.30	27	0.36	97	1.31	19	0.26	67	0.91	11	0.15	43	0.58	1	0.01
栃木県	-	-	6	0.13	16	0.35	82	1.78	33	0.72	13	0.28	4	0.09	39	0.85	1	0.02
群馬県	-	-	47	0.76	35	0.56	116	1.87	31	0.50	14	0.23	18	0.29	55	0.89	-	-
埼玉県	-	-	74	0.47	42	0.26	317	1.99	68	0.43	68	0.43	58	0.36	204	1.28	-	-
千葉県	-	-	28	0.22	58	0.46	231	1.82	47	0.37	69	0.54	49	0.39	114	0.90	5	0.04
東京都	-	-	36	0.25	44	0.31	300	2.11	33	0.23	99	0.70	27	0.19	95	0.67	3	0.02
神奈川県	-	-	35	0.17	97	0.47	457	2.22	52	0.25	112	0.54	52	0.25	190	0.92	2	0.01
新潟県	-	-	33	0.55	42	0.70	120	2.00	35	0.58	86	1.43	14	0.23	37	0.62	-	-
富山県	-	-	11	0.38	36	1.24	101	3.48	28	0.97	82	2.83	1	0.03	22	0.76	1	0.03
石川県	-	-	12	0.41	13	0.45	102	3.52	10	0.34	48	1.66	10	0.34	17	0.59	-	-
福井県	-	-	45	2.05	24	1.09	146	6.64	32	1.45	61	2.77	3	0.14	13	0.59	1	0.05
山梨県	-	-	6	0.24	8	0.32	38	1.52	5	0.20	5	0.20	1	0.04	14	0.56	-	-
長野県	-	-	55	1.00	27	0.49	186	3.38	19	0.35	119	2.16	9	0.16	48	0.87	2	0.04
岐阜県	-	-	13	0.25	13	0.25	54	1.02	20	0.38	10	0.19	6	0.11	34	0.64	2	0.04
静岡県	-	-	27	0.31	37	0.43	285	3.31	33	0.38	66	0.77	19	0.22	101	1.17	1	0.01
愛知県	-	-	39	0.21	80	0.44	360	1.98	54	0.30	88	0.48	35	0.19	150	0.82	3	0.02
三重県	-	-	17	0.38	25	0.56	194	4.31	37	0.82	52	1.16	8	0.18	60	1.33	-	-
滋賀県	-	-	15	0.45	1	0.03	37	1.12	14	0.42	27	0.82	-	-	30	0.91	2	0.06
京都府	-	-	7	0.09	22	0.29	198	2.61	38	0.50	65	0.86	20	0.26	38	0.50	1	0.01
大阪府	-	-	40	0.21	70	0.36	393	2.02	87	0.45	144	0.74	24	0.12	158	0.81	3	0.02
兵庫県	2	0.01	22	0.17	76	0.59	319	2.49	48	0.38	107	0.84	24	0.19	107	0.84	4	0.03
奈良県	-	-	5	0.14	14	0.40	79	2.26	11	0.31	17	0.49	3	0.09	13	0.37	-	-
和歌山県	-	-	7	0.23	10	0.32	58	1.87	25	0.81	11	0.35	6	0.19	38	1.23	2	0.06
鳥取県	-	-	-	-	24	1.26	80	4.21	9	0.47	7	0.37	1	0.05	20	1.05	7	0.37
島根県	-	-	4	0.17	10	0.43	106	4.61	4	0.17	6	0.26	1	0.04	23	1.00	1	0.04
岡山県	-	-	18	0.33	30	0.56	133	2.46	20	0.37	18	0.33	5	0.09	33	0.61	-	-
広島県	-	-	60	0.80	22	0.29	274	3.65	23	0.31	34	0.45	6	0.08	64	0.85	-	-
山口県	-	-	27	0.55	34	0.69	163	3.33	26	0.53	45	0.92	4	0.08	51	1.04	-	-
徳島県	-	-	4	0.17	9	0.39	46	2.00	14	0.61	4	0.17	-	-	9	0.39	-	-
香川県	-	-	4	0.13	9	0.28	68	2.13	21	0.66	7	0.22	5	0.16	27	0.84	-	-
愛媛県	-	-	11	0.28	23	0.59	131	3.36	21	0.54	65	1.67	7	0.18	42	1.08	-	-
高知県	-	-	28	0.90	18	0.58	49	1.58	10	0.32	78	2.52	3	0.10	20	0.65	1	0.03
福岡県	-	-	34	0.28	75	0.63	366	3.05	68	0.57	289	2.41	29	0.24	123	1.03	6	0.05
佐賀県	-	-	8	0.35	14	0.61	21	0.91	13	0.57	42	1.83	7	0.30	20	0.87	-	-
長崎県	-	-	7	0.16	19	0.43	87	1.98	13	0.30	67	1.52	3	0.07	39	0.89	-	-
熊本県	-	-	45	0.92	37	0.76	188	3.84	22	0.45	71	1.45	5	0.10	50	1.02	1	0.02
大分県	-	-	4	0.11	60	1.67	167	4.64	32	0.89	161	4.47	10	0.28	42	1.17	-	-
宮崎県	-	-	30	0.81	23	0.62	175	4.73	29	0.78	171	4.62	5	0.14	60	1.62	3	0.08
鹿児島県	-	-	12	0.22	30	0.56	145	2.69	32	0.59	140	2.59	8	0.15	43	0.80	2	0.04
沖縄県	1	0.02	6	0.18	14	0.41	14	0.41	8	0.24	48	1.41	3	0.09	20	0.59	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年36週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	21	0.01	1746	0.58	16	0.01	2176	0.72	16	0.03	547	0.86	8	0.02	31	0.07	74	0.16
北海道	2	0.01	148	1.03	1	0.01	47	0.33	-	-	24	0.83	-	-	-	-	6	0.26
青森県	1	0.02	98	2.33	-	-	13	0.31	-	-	3	0.27	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	-	-	34	0.94	-	-	5	0.14	3	0.25	4	0.33	-	-	-	-	4	0.20
宮城県	1	0.02	72	1.22	-	-	31	0.53	-	-	5	0.45	1	0.08	-	-	6	0.50
秋田県	-	-	67	1.91	-	-	1	0.03	-	-	5	0.71	-	-	-	-	6	0.86
山形県	-	-	25	0.83	-	-	26	0.87	-	-	3	0.38	-	-	1	0.10	4	0.40
福島県	-	-	66	1.38	-	-	11	0.23	-	-	14	1.17	-	-	-	-	3	0.43
茨城県	-	-	29	0.39	1	0.01	27	0.36	-	-	38	2.38	-	-	-	-	1	0.09
栃木県	2	0.04	17	0.37	-	-	18	0.39	-	-	13	1.08	-	-	1	0.14	1	0.14
群馬県	-	-	63	1.02	-	-	51	0.82	-	-	29	2.07	-	-	1	0.10	-	-
埼玉県	-	-	52	0.33	-	-	162	1.02	1	0.03	37	1.00	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	38	0.30	-	-	114	0.90	-	-	14	0.42	-	-	-	-	1	0.11
東京都	1	0.01	60	0.42	1	0.01	46	0.32	-	-	21	1.50	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.00	86	0.42	1	0.00	113	0.55	1	0.02	23	0.55	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	86	1.43	-	-	56	0.93	-	-	-	-	2	0.15	1	0.08	8	0.62
富山県	-	-	40	1.38	1	0.03	13	0.45	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	5	0.17	-	-	12	0.41	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	6	0.27	-	-	46	2.09	-	-	2	0.67	2	0.33	-	-	-	-
山梨県	-	-	13	0.52	-	-	2	0.08	-	-	-	-	-	-	1	0.10	1	0.10
長野県	1	0.02	69	1.25	-	-	16	0.29	-	-	5	0.45	-	-	1	0.09	2	0.18
岐阜県	-	-	27	0.51	-	-	76	1.43	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	71	0.83	-	-	70	0.81	-	-	16	0.80	-	-	2	0.20	-	-
愛知県	4	0.02	60	0.33	-	-	192	1.05	4	0.11	42	1.20	-	-	-	-	3	0.23
三重県	-	-	25	0.56	-	-	27	0.60	-	-	2	0.17	-	-	1	0.11	2	0.22
滋賀県	1	0.03	11	0.33	-	-	26	0.79	1	0.14	1	0.14	-	-	4	0.57	-	-
京都府	1	0.01	24	0.32	1	0.01	35	0.46	1	0.06	7	0.39	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	65	0.33	6	0.03	167	0.86	1	0.02	24	0.49	-	-	1	0.07	2	0.13
兵庫県	-	-	48	0.38	-	-	114	0.89	-	-	20	0.57	1	0.08	1	0.08	-	-
奈良県	-	-	14	0.40	-	-	19	0.54	-	-	1	0.11	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	24	0.77	-	-	37	1.19	-	-	-	-	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	-	-	4	0.21	-	-	4	0.21	-	-	1	0.33	-	-	1	0.20	1	0.20
島根県	-	-	10	0.43	-	-	5	0.22	-	-	-	-	-	-	5	0.63	1	0.13
岡山県	-	-	19	0.35	1	0.02	50	0.93	-	-	7	0.58	-	-	-	-	1	0.20
広島県	-	-	50	0.67	-	-	73	0.97	-	-	31	1.55	-	-	3	0.16	3	0.16
山口県	-	-	16	0.33	-	-	46	0.94	1	0.11	1	0.11	-	-	-	-	7	0.78
徳島県	-	-	6	0.26	-	-	7	0.30	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	9	0.28	-	-	24	0.75	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	32	0.82	-	-	46	1.18	1	0.14	23	3.29	-	-	1	0.17	2	0.33
高知県	1	0.03	23	0.74	-	-	12	0.39	1	0.33	6	2.00	-	-	1	0.11	3	0.33
福岡県	-	-	37	0.31	-	-	185	1.54	-	-	18	0.69	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	66	2.87	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17	1	0.17
長崎県	-	-	11	0.25	-	-	12	0.27	1	0.13	8	1.00	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	30	0.61	1	0.02	20	0.41	-	-	10	1.11	-	-	1	0.07	1	0.07
大分県	-	-	25	0.69	-	-	10	0.28	-	-	1	0.20	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	12	0.32	-	-	24	0.65	-	-	9	2.25	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	-	-	13	0.24	1	0.02	10	0.19	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
沖縄県	3	0.09	4	0.12	1	0.03	9	0.26	-	-	44	4.40	-	-	-	-	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年36週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	4	0.01	-	-	45
北海道	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	5
岩手県	1	0.05	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-
福島県	3	0.43	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	...
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	2
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	13

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第36号 平成16年9月17日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。